

「日中学院・倉石賞とは」

日中学院の創始者、倉石武四郎先生が日中友好協会主催の中国語講習会の会長に1950年4月に就任、日中友好協会の委任により、1951年、日中学院の前身「倉石中国語講習会」を創設。以後1972年の国交回復までの21年余の苦難、苦闘の苦難の中で今日の日中学院への基礎づくりと共に日中友好を目的とする人材育成のための基礎づくりをする。

日中学院の独立へ懸命な努力を重ねるが1975年11月中国語教育界の今日の隆盛を見ずに他界。

倉石先生の没後、遺族よりの計850万円の寄付があり、日中学院の運営資金として貯えてあったものをもとに、1989年4月の創立38周年、倉石先生没後15周年を記念して、その利息及び学院から資金を毎年若干加え「倉石武四郎先生記念基金」を設ける。

以来、今日まで29の個人、団体への授賞と本学院学生への奨学金支給をする。

過去の受賞者一覧（敬称略）

- 1989年(第1回) ○「中国図書館図書分類法」翻訳・出版近野チウ、毛利シン
○「北京的西瓜」実在の主人公五十嵐勝・五十嵐フミ
- 1990年(第2回) ○「内山書店」故内山嘉吉・内山松藻
- 1991年(第3回) ○「思源寮」管野俊作 ○多摩中国語講習会小寺修
- 1992年(第4回) ○中国語教育史研究六角恒広 ○世田谷日中学院片岡公正
- 1993年(第5回) ○全国高等学校中国語教育研究会 ○「季刊・中国現代小説」刊行会
- 1994年(第6回) ○話劇人社
- 1995年(第7回) ○731部隊展実行委員会 ○現代中国映画上映会
- 1996年(第8回) ○中国語友の会 ○日中芸術研究会
- 1997年（時期調整のため、募集行なわず。）
- 1998年(第9回) ○中国帰国者の会
- 1999年(第10回) ○映画「侵略」上映委員会 ○日本シャンチー協会
- 2000年(第11回) ○長谷川良一 ○中国山地教育を支援する会
- 2001年(第12回) ○古屋昭弘 ○高野悦子と岩波ホール
- 2002年(第13回) 該当者なし
- 2003年(第14回) ○いばらき中国語を学ぶ会と井坂孝雄 ○日中文化交流協会白戸吾夫
- 2004年(第15回) ○現代中国語講座 ○静岡中国語講座
- 2005年(第16回) ○輿水優
- 2006年（時期調整のため、募集行なわず。）
- 2007年(第17回) ○長谷川清司
- 2008年(第18回) ○段躍中
- 2016年(第19回) ○公益財団法人国際文化フォーラム

以上

倉石武四郎先生略歴

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1897.9.21 新潟県高田に生まれる | 1951.4 倉石中国語講習会を創設 |
| 1924.4 私立大谷大学助教授 | 1954.7 (財)善隣学生会館理事に就任 |
| 1939.4 京都帝国大学教授 | 1958.5 東京大学名誉教授 |
| 1940.4 東京帝国大学教授 | 1964.4 日中学院創立 |
| 1946.10 中国語学研究会会長 | 1975.11.14 永眠 |